

団体名	中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」
活動テーマ	円滑な社会復帰の手助け



【目的】

1. 高次脳機能障害者に対して、グループ訓練をととして自身の障害に気づき（自己認識）の獲得を図る。
2. 自身の障害について、気づきを獲得し、社会復帰の向上を図る。

【活動内容】

1. 4月17日から12月18日までの18日間において、当事者・家族と支援スタッフ等延402名が参加
2. グループ訓練を開始の前後において個別面談と評価を実施。グループ訓練は①4班に分かれてゲーム（トランプ、しりとり）②献立、買い物、調理実行（焼きそば、焼き芋、スパニッシュオムレツ、キノコいっぱいオムレツ）③外出訓練（他のグループが作成した外出計画）を実行し、良かったこと、反省すべきことを記した。

【訓練を終えて】

当事者は、「自分の障害について気づいた」「自分だけではないと感じた」「家の中では気づかない」等の声をまた、**家族からは**、「グループ訓練の仲間と先生から与えられた課題と行動遂行することができ、自分もやればできるといった事が自信に繋がったように見える」「今まで、人任せだったのが、手帳の切り替え申請書を自分で書き、市役所職員さんと話をしていた。今まで、面倒なので、すべて家族がしていたが、これからは気長に本人にさせたい」「休むことなく参加できて良かった」の声を聴いています。

本年は、慢性期高次脳機能障害者のグループ訓練後のフォローアップを図ります。